

若手切り紙作家がロシア・キルギス・ウズベキスタンを訪問 現地での交流の様子を展示とワークショップで報告

日本の伝統文化の一つである切り紙をアート表現として活躍する、切り紙作家、矢口加奈子さんは、国際交流基金（ジャパンファウンデーション）の文化紹介派遣で、2009年10月、ロシア・キルギス・ウズベキスタンの3カ国4都市を訪れ、現地の子どもたちと切り紙を使ったワークショップを行いました。

切り紙を通じての出会いや、日本文化を伝える意義について、矢口さんの体験の報告会と、実際に切り紙を体験する一般公開のワークショップを行ないます。また、現地の様子を伝える写真と切り紙作品の展示も行ないます。

切り紙と写真の展示 2010年7月12日（月）～8月5日（金）

場所：ジャパンファウンデーション 2F JFIC ラウンジ（新宿区四谷 4-4-1）

（東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅 徒歩3分）

開館時間：月～金 10：00～19：00、第3土 10：00～17：00（土・日・祝日休館）

7月17日（土）は10：00～17：00開館、7月20日（火）は休館です。また、7月14日（水）は18時で、23日（金）は16時で閉館です。なお、7月24日（土）は報告会＆ワークショップ前後にも展示をご覧になれます。

切り紙と見た景色（報告会と切り紙ワークショップ）

2010年7月24日（土） 14:00～16:00

場所：ジャパンファウンデーション 2F JFIC ホール【さくら】（新宿区四谷 4-4-1）

（東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅 徒歩3分）

参加費：500円

申込みが必要です。7月20日（火）までに、Eメール jfscmember@jpf.go.jp または FAX：03-5369-6044 まで、お名前とご連絡先をお知らせください。



矢口 加奈子（やぐち かなこ） <http://www.yorokobinokatachi.com/>

1976年生まれ 女子美術大学デザイン科卒業 切り紙作家

大学在学中に「歎 よろこびのかたち」と題して作品を発表し、「切り紙」をさまざまなかたちに展開する活動を開始。手を通して生み出される作品は、新しい発見とどこか懐かしい表現にあふれ、国内外で注目を集めている。

現在は、個展を中心に作品を発表しながら、企業とのコラボレーション、店舗や雑誌のアートワーク、ロゴデザイン、ワークショップ、執筆活動など多方面で活躍、メディアにも多数紹介されている。また近年、海外での活動を積極的に展開し、さらに表現の場を広げている。最新刊は「紙とはさみでつくる切り紙手帖」（池田書店）

【お問い合わせ】国際交流基金 情報センター 担当：吉本

電話：03-5369-6075 FAX：03-5369-6044 E-mail：jfscmember@jpf.go.jp